

第12回高知県木の文化賞

木造建築物及び木造建造物の部

四万十町役場本庁舎

所在地: 四万十町琴平町

●発注者: 四万十町

●設計者: 株式会社松田平田設計

●施工者

: 入交・田邊・郷田特定建設工事共同企業体

: 和・生田・松井特定建設工事共同企業体



木の文化県
こうち



高知県

施設の概要



この建物は、町有林のヒノキの間伐材を内外にふんだんに使用し、四万十町らしさを表現する町のシンボルとして建てられました。JR四国の線路を挟んで分かれて建つ西庁舎、東庁舎を3階にある渡り廊下がつないでいます。

木材は四万十町森林組合に発注し、製材は町内製材業と協議を重ねながら、構造材約250㎡、汎用材300㎡の材を確保しました。窓口カウンターや床・壁・天井材にも四万十ヒノキが使用されていて、木で包まれた空間で来庁者を迎えられるようになっていきます。町行政のシンボルとなる議場の壁には、小断面のヒノキの角材で波型に似せた凸凹をつくり、四万十川の雄大な流れを表現しています。

■完成時期：平成26年3月

選 評

- ・規模の大きな建築物ながら、木質化に配慮しており、地元の木を使うことへの努力がみられる。
- ・正統派の木材構造物として素直に評価できる。
- ・オープンスペースを多くとって、開放感がある。
- ・外観にもこだわり、照明をつけるなどして木の良さをアピールしている。

